

# 川越町の子どもたちの学力向上に向けて

～全国学力・学習状況調査の結果報告～

平成27年10月  
川越町教育委員会

本年4月、小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要をお伝えします。川越町教育委員会では、結果からわかる、子どもたちの「強み」「弱み」等の傾向をとらえ、具体的な施策に反映していきます。つきましては、保護者の皆様には、家庭生活や生活習慣の見直しに向けてご協力をお願いいたします。

なお、この調査は学力の特定の一部分を測るものであり、学力のすべてを測るものではないことをご理解ください。

## 1. 学力・学習状況調査結果



### 全国学力・学習状況調査について

A問題とは、主として「知識」に関する問題です。(身につけておくべき基礎的な知識や技術)

B問題とは、主として「活用」に関する問題です。(知識や技能を実生活の場に活用する能力)

### (1) 川越町小学校

□全体の傾向・・・全体的に改善の傾向が見られる。

**国語 A** : 正答率のやや高い児童が多い。

**国語 B** : 正答率のやや高い児童と、やや低い児童との二極化の傾向が見られる。

**算数 A** : 正答率のやや低い児童が多く、やや高い児童との二極化の傾向がみられる。

**算数 B** : 正答率のやや低い児童が多い。

**理科** : 正答率のやや高い児童と、やや低い児童と、低い児童との三極化の傾向が見られる。

□強みと弱み

	A問題	B問題
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>○漢字の読み書きは定着してきている。</li><li>○新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることは達成できている。</li><li>▲文の主語と述語、修飾と被修飾との関係を十分に読み取れていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○新聞の特徴を理解し、紙面構成することはできている。</li><li>▲目的や意図に応じ、記事に見出しを付けることができていない。</li><li>▲目的に応じ、文章と図・資料とを関連付けて読むことが達成できていない。</li><li>▲登場人物の気持ちの変化をとらえた音読について、工夫した内容を文章で説明することができていない。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>○全体的に無答率が低く、どの子もよく取り組んでいる。</li><li>○見取図や展開図と関連付けて、立体</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○平行四辺形の性質や構成について、よく理解できている。</li><li>▲割合や単位量当たりの大きさを活用し</li></ul>

算数	<p>図形を理解することができている。</p> <p>▲到着時刻を基準にして出発時刻を逆算するなど、条件を整理して時刻や時間を求めることができていない。</p> <p>▲図形の性質を基に、角の大きさや辺の長さを求めることができていない。</p>	<p>て考えることができていない。</p> <p>▲図形の約束や性質と関連付けて、説明することが達成できていない。</p>
理科	<p>○電磁石の性質やはたらきについて、電流の強さや回路と関連させて思考することができている。</p> <p>○生物の観察が適切にできている。</p> <p>▲顕微鏡の適切な操作方法が身につけていない。</p> <p>▲グラフを基に考察し、実験について分析したことを書くことが達成できていない。</p>	

## (2) 川越町中学校

□全体の傾向・・・国語 A と数学 B は改善の傾向が見られる。

**国語 A**：正答率のやや高い生徒と、やや低い生徒との二極化の傾向が見られる。

**国語 B**：正答率のやや高い生徒と、やや低い生徒との二極化の傾向が見られる。

**数学 A**：正答率のやや低い生徒が多く、やや高い生徒との二極化の傾向が見られる。

**数学 B**：正答率の低い生徒が多い。

**理 科**：正答率のやや低い生徒が多く、やや高い生徒との二極化の傾向が見られる。

□強みと弱み

	A問題	B問題
国語	<p>○文脈に即して、漢字を正しく書くことは到達できている。</p> <p>○代表的な古典の作品に関心をもつことが概ねできている。</p> <p>▲文脈に即して、適切な語句を選択することができていない。</p> <p>▲手紙の書き方についての理解が十分ではない。</p>	<p>▲状況に応じ、資料を活用して話したり、工夫して提示したりすることができていない。</p> <p>▲複数の資料からの情報をもとに、自分の考えを具体的に書くことができていない。</p> <p>▲根拠を明確にして、自分の考えを書くことができていない。</p>
数学	<p>○正の数と負の数の理解はできている。</p> <p>▲一元一次方程式および連立二元一次方程式についての理解が十分できていない。</p> <p>▲図形領域については達成できていない問題が多い。</p> <p>▲2つの数量の変化や対応をグラフから読み取ることができていない。</p>	<p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取ることは達成できている。</p> <p>▲数と式の領域について、数量関係を説明することができていない。</p> <p>▲問題に取り組みず、無解答の生徒の割合が高い。</p> <p>▲与えられた表や式を用いて、解答を導き出す方法を数学的に説明する問題は達成できていない。</p>
	○気象現象に関する観測や実験については、十分に達成できている。	

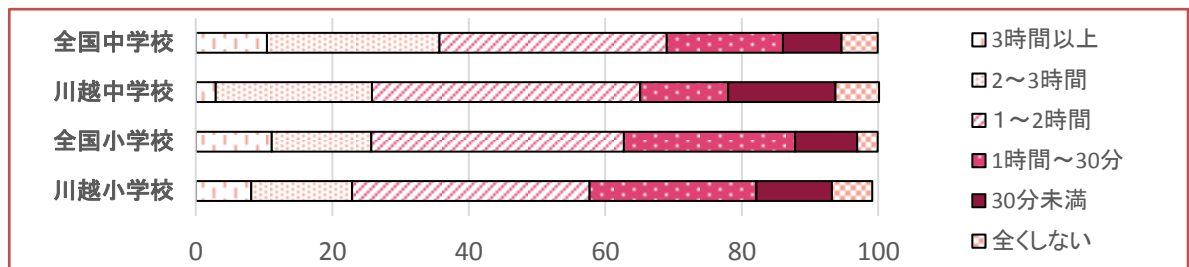
理科	<p>○化学的領域については、達成できている。</p> <p>▲電磁誘導について、値を求めたり、磁界の変化を説明したりすることができていない。</p> <p>▲生物的領域について、観察や実験の結果と関連付けて考察することが達成できていない。</p>
----	--

### (3) 児童生徒質問紙による生活調査結果

#### ①学習時間帯

**\*小学校は0～30分未満の割合が多い。中学校は30分より少ない割合が多い。**

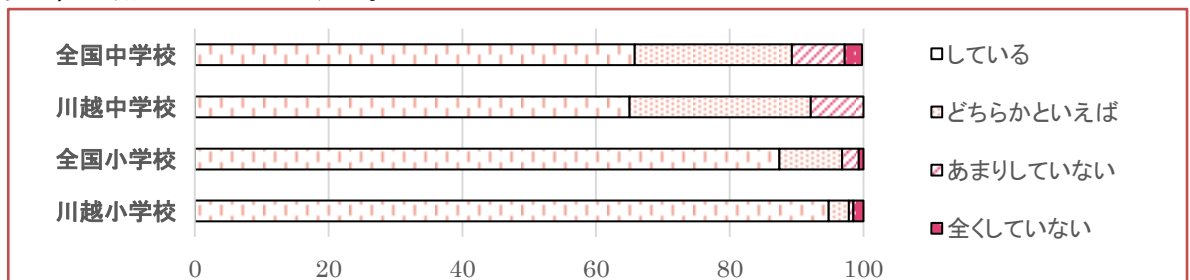
Q：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか（学習塾や家庭教師含む）



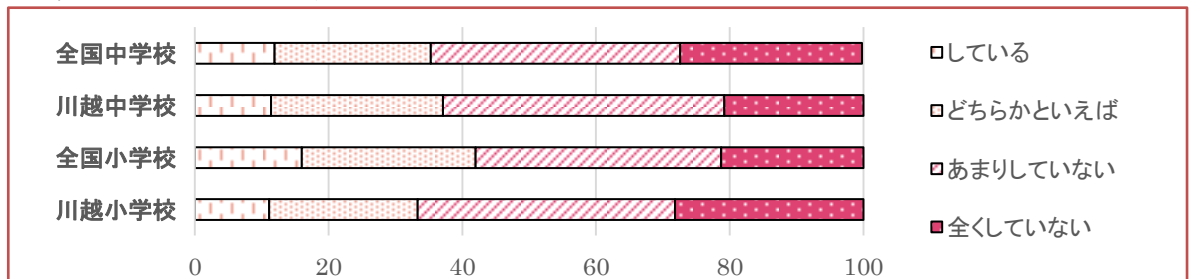
#### ②予習・復習

**\*宿題については多くの子どもたちが取り組めているが、宿題に加えて予習や復習をする子どもは特に小学校において少ない。**

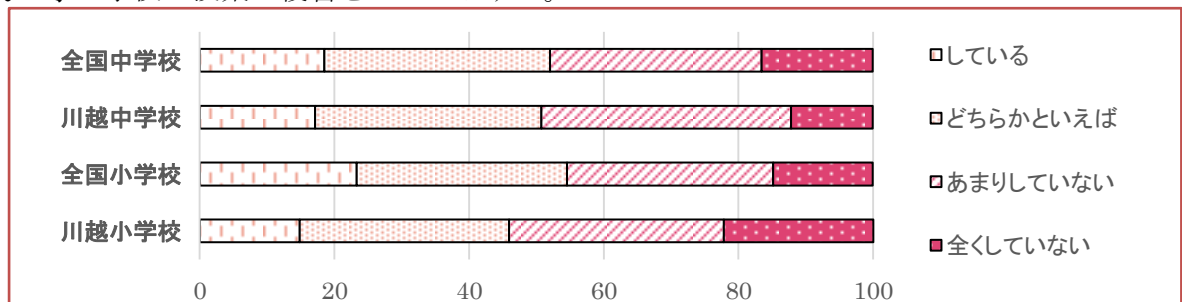
Q：家で宿題をしていますか。



Q：家で学校の授業の予習をしていますか。



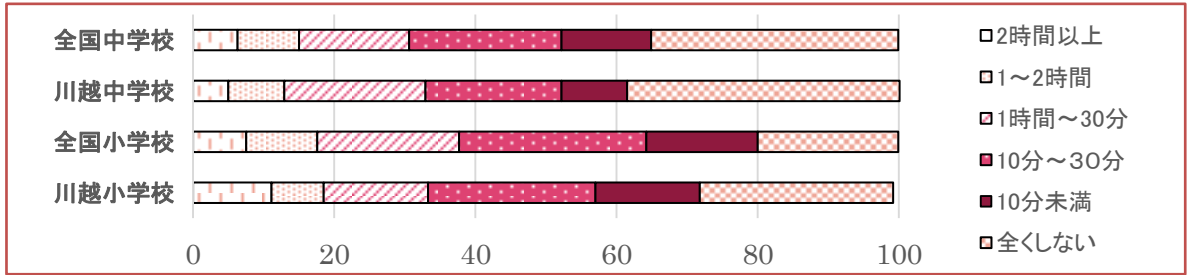
Q：家で学校の授業の復習をしていますか。



③読書習慣

\*毎日読書をしている子どもたちは半数以上いる。しかし、全く読書をしない子どもの割合が高い。

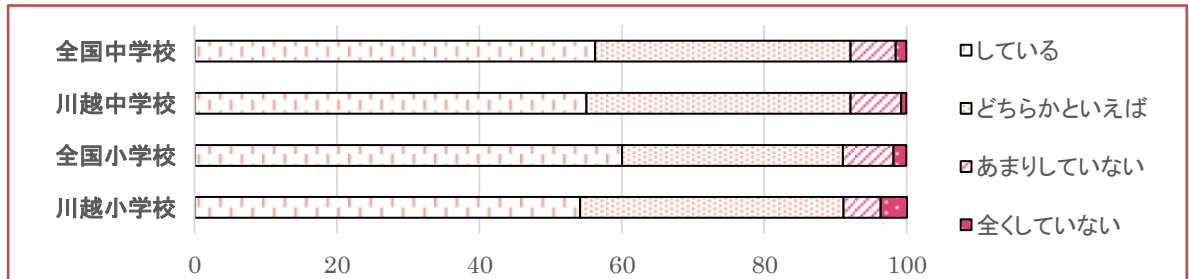
Q：学校の授業以外に、普段（月～金曜日）どのくらい読書をしますか。



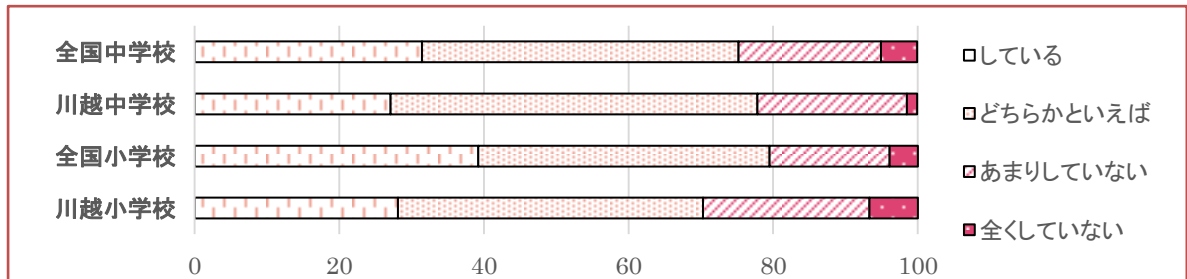
④基本的な生活習慣

\*中学生は規則正しい生活ができている。小学生は就寝時間にばらつきのある子どもがいる。

Q：毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



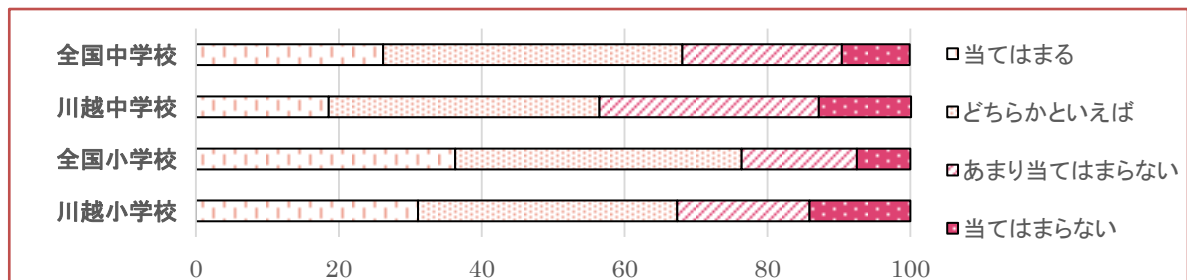
Q：毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



⑤自尊感情

\*全国と比較して、自尊感情の高い子どもが少ない。

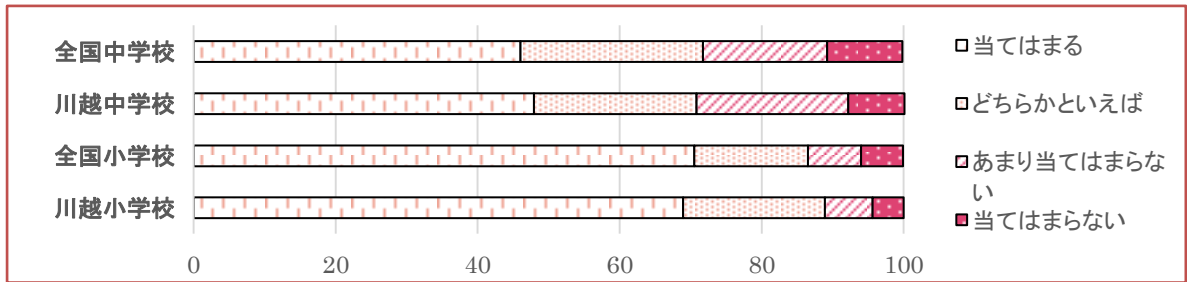
Q：自分には、よいところがあると思いますか。



⑥キャリアの形成

**\*小中学生とも、概ねの子どもたちが夢や目標を持っている。**

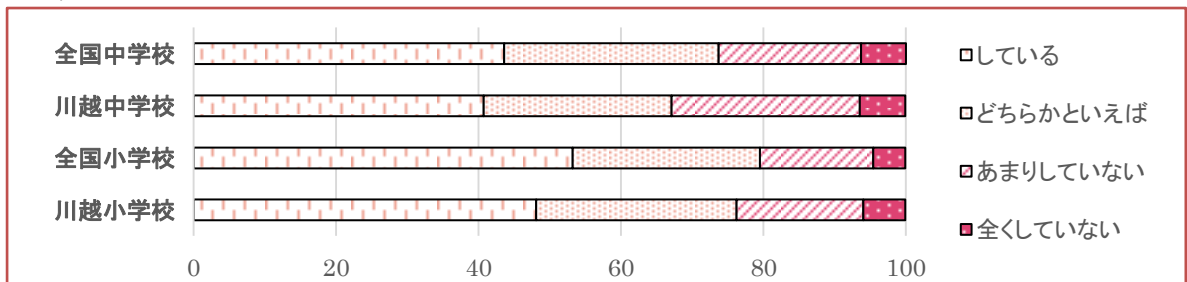
Q：将来の夢や目標を持っていますか。



⑦家庭でのコミュニケーション

**\*全国と比較すると、家の人と学校の出来事について話す機会がやや少ない。**

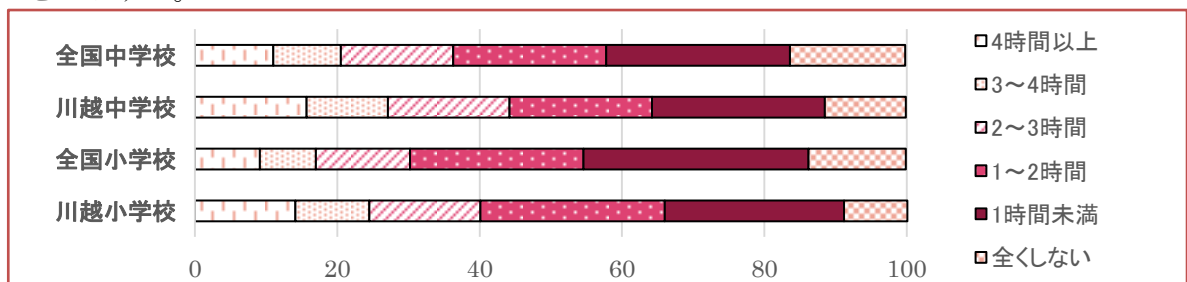
Q：家の人と学校での出来事について話をしていますか。



⑧ゲームの時間

**\*全国と比較すると、小・中学校ともに、ゲームに長時間費やしている子どもの割合が多い。**

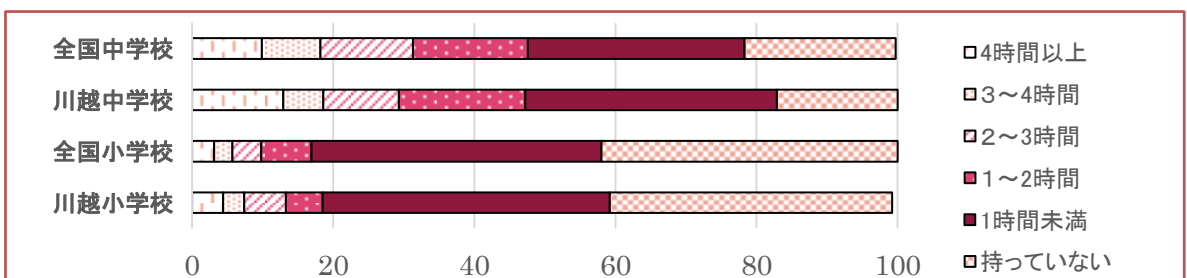
Q：普段（月～金曜日）1日にどれくらいゲーム（PC、スマートフォン等のゲームを含む）をしますか。



⑨メール・インターネットの時間

**\*小・中学校ともに、メールやインターネットに費やす時間が、やや多い。**

Q：普段（月～金曜日）1日にどれくらいメールやインターネットをしますか。



#### (4) 学校質問紙による調査結果

- 「昨年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しているか」「昨年度の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しているか」という問いに対し、小中学校とも「よく行った」と回答しています。併せて、「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有しているか」という問いについても、小中学校とも「よく行った」と回答しています。昨年度の分析の結果では、小中学校とも無答率が全体的に高いことが課題となっていました。本年度は随分と解消され、無答率が全国や三重県よりも下回る設問がありました。また、国語Aについては、無答率0%の設問が多く、子どもたちが粘り強く取り組む様子も見受けられました。
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたか」という問いに対し、小中学校とも「取り組んでいる」と回答しています。小中学校の教育活動において、様々な場面で挑戦する場を設定して取り組んでいますが、子どもたちの自尊感情の高まりに十分つながっていない状況です。意欲を持って挑戦しようとする機会を今後も意識的に設定し、一人一人によい点や可能性を見つけ、積極的に評価および承認を行っていくことで、自尊感情の高まりへつなげていく必要があります。
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしたか」「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めたか」という問いに対し、小中学校とも「取り組んでいる」と回答しています。互いの考え方を交流したり自らの考えを深めたりするための時間確保はされていますが、理解力および活用力向上へつながる手立てとなるよう、自らの考えをまとめて表現する活動を取り入れた授業展開の工夫が求められています。



## 2. 教科に関する調査結果から見えてくることと対策

### (1) 小学校

#### 国語

- 与えられた文字数や条件に合わせて、書く力に課題がある。
- 初めて向き合う文章に対して、根気よく読んだり考えたりすることが苦手である。
- 複数の必要な情報を関連付けて思考することに慣れていない。

#### 算数

- 基本的な計算や基礎的な作図などの力はあるが、問題を解くために必要な数値や条件を見つけ、これまでに学習した内容と関連付けながら思考することに課題がある。
- 解き方について、必要な言葉や数式を用いながら表現することに慣れていない。

#### 理科

- 観察、実験の器具について、適切に操作することができていない。
- 観察、実験の結果から考察して分析することに慣れていない。また、分析した内容を記述することに課題がある。

## (2) 中学校

### 国語

- 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。

### 数学

- 身の回りの事柄を数学的に表したり（図形やグラフ）、数学的な表現で説明したりすることに課題がある。
- 学習したことを活用して、問題を解決していこうとする力に課題がある。

### 理科

- 観察や実験の結果から考察して分析したり、分析を通して多様性や規則性を見い出したりに慣れていない。
- 科学的な概念を使用して説明する経験が不足している。

## (3) 課題を解決するための手立てや指導改善について

### 全体を通して

全教科において、つけたい力を明確にし、児童・生徒自身が「何を学んだか」「どんなことができるようになったか」を実感できるようにします。

1. 「めあてとふりかえり」（目標の提示、振り返り活動）のある授業の徹底を図る。
2. 自分の考えを整理して書く力をつけるためのノート指導を行う。
3. 一人一人の学習状況を十分とらえ、少人数による効果的な指導を行う。

### 国語

1. 書くことの指導の充実
  - ・ マス目を使い、制限字数の中で条件に合った答えを書く練習をする。
2. 語彙を豊かにする指導の工夫
  - ・ 漢字や語句を習得するために、例文やフレーズで覚える学習を数多く取り入れる。
  - ・ いろいろな文章や作品に出会わせるために、読み聞かせの機会を充実する。
3. 自分の考えをまとめる活動の充実
  - ・ 国語の時間はもとより、他教科においても毎時間のめあてに対する振り返りの中で、自分の考えをまとめる活動を取り入れる。
4. 音読の習慣
  - ・ 声に出してしっかり読むことを習慣づけて、正確に読み取る力の基盤作りを徹底する。

### 算数・数学

1. できる活動の充実
  - ・ 基礎となる内容をていねいに指導し、定着を図るための活動を取り入れる。
2. わかる活動の充実
  - ・ 「○○であるから、△△である。」の形式で記述させたり発表させたりする。
  - ・ 言葉や数・式と、図・表・グラフなどを関連付けた授業を取り入れる。
3. 子どもたちが「わかった」「できた」ことが実感できる授業展開
  - ・ 「ふりかえり」の時間を大切にするとともに、子どもたちの理解度を測る評価問題などを適切に取り入れる。

## 理科

1. 変化とその要因とを関連付けて考える活動の充実
  - ・ 観察、実験をするだけでなく、予想や仮説を設定し、実験・観察後に検証する。また、その結果からさらに考え合う活動を設定する。
2. 全員が正しく器具の操作ができるようにする指導
  - ・ 観察や実験を行う授業展開に、器具の扱い方を理解する時間を設定する。
3. 学習を通して得た知識を日常生活に当てはめて考える活動の充実
  - ・ 身近に始まり、身近で終わる授業展開を工夫する。

### 3. 町教育委員会による手立て



#### (1) 少人数教育の充実

少人数での指導体制を継続し、国語科および算数・数学科を中心とした基礎的基本的な力の向上を目指します。

#### (2) きめ細やかな指導体制の充実

町非常勤講師や学習支援員の配置を生かした指導のあり方をさらに充実し、一人ひとりの子どもたちが学びやすい環境づくりを進めます。

#### (3) 学力向上推進委員会の設置

川越町学力向上推進委員会を設置し、各学校の取組について情報交換を行い、子どもたちの学ぶ力を伸ばすための授業改善を進めます。また、川越町全体で進める学力向上策について検討します。

#### (4) 校内研修等への訪問指導・支援

指導主事が各校へ訪問し、学力向上に向けた校内研修への指導・支援を拡充します。また、学力の定着を図るための授業のあり方について、教職員に向けた直接指導を進めます。

#### (5) 家庭学習の推進

三重県下で展開されている学力向上県民運動と連動しながら、各校が配付している家庭学習の手引きやシラバスをもとに、「家庭学習の定着に向けた取組の必要性」を各家庭へ呼び掛けていきます。

#### (6) 自己有用感の向上

児童生徒の自尊感情が高まるよう、「子どもたちが挑戦する場」を学校や家庭でこれまで以上に意図的に設定するとともに、その機会を生かして、子どもたちの伸長を見つめ、承認していけるようにします。

### 4. 家庭・地域へのお願い



#### (1) 家庭学習の習慣を定着させる・・・見守る、声をかける

子どものノートや学習したプリント等にできるだけ目を通し、「見守り・声かけ」をしていただくようお願いします。家庭学習を継続させるためには、声をかける、ほめる、はげますことで、子どものやる気を引き出すことも、保護者の役割です。

##### 【家庭学習を習慣にするポイント】

- 毎日、決まった時間に決まった場所で勉強する。
- テレビを消して、集中して勉強する。



- 机の上をかたづけて、良い姿勢で勉強する。
- 教科書やノート、学習用具の整理整頓に心がける。

## (2) テレビ、ゲーム、スマホ等の上手なつきあい方を教える・・・ルール作り

規則正しい生活リズムの確立が、学力向上に深く関連しています。テレビやゲームを楽しむ時間や、携帯電話およびスマートフォンを使用する時間、方法などについて、家庭でのルールづくりをしていただきますようお願いします。

例) 毎週水曜日は「ノーテレビ・ノーゲームデー」にする。

夜の10時以降は、携帯電話やスマートフォンを使わない。

リビング以外でパソコンは使わない。

など

## (3) 難しいことにも挑戦する心を育てる・・・ほめて伸ばす

自分自身に自信が持てず、自分で考えたり、自分で決めたりできない子どもが増えています。「家族で決めた約束が守れた」「頼んだ仕事ができた」など、子どもが何かを継続して行ったときや、以前よりも進歩が見えたときには、その機会を見逃さず、きちんとほめましょう。成功や失敗、出来や不出来に注目するのではなく、子どもの意思で行動したことを評価することが大切です。

### 【子どものほめ方のポイント】

- 他の子（友だちや兄弟）と比べてほめない
- よかったことを具体的にほめる
- 結果（順位や点数等）に注目せず、努力したことをほめる
- その場ですぐほめる

「ほめて伸ばす」ことは、「叱ってはいけない」ことではありません。人のことを考えず、我慢のきかない子どもにならないように、悪い事は悪いと教え、目指すべき良き行動がとれるように子どもを導いていきましょう。

みえの学力向上県民運動

学校・家庭・地域の教育力を高めよう！

みえの学力向上

検索

